

“イチガン”ワークショップ (1 学年)

令和7年5月14日(水)、「人間と社会」の授業において、NPO 法人ドラマケーション普及センターよりファシリテーターの方々をお招きし、「“イチガン”ワークショップ」を実施しました。



このワークショップの目的は、クラスが“一丸”となって協働してアクティビティに取り組むことにより、生徒同士でお互いに強みや弱みを把握し、それを互いに補える関係を構築しコミュニケーションスキルを高めることです。

じゃんけんや震源地ゲーム、たけのこニョッキ、ジェスチャーゲームなど、体一つでできるアクティビティを通じて、生徒同士の交流を深めチームビルディングを行いました。ファシリテーターの方々の明るく巧みな進行により、教室のあちこちから歓声や笑い声が上がるなど、生徒達は非常に活発にアクティビティに取り組んでいました。

ジェスチャーゲーム



たけのこニョッキ



作戦会議



数かぞえゲーム



「友達の新たな一面を知れた」、「普段あまり話さない人とも協力をし、仲が良くなった」、「みんなで協力する楽しさや大切さを感じることができた」、「グループでの協働作業により、“一丸”を感じることができた」などの声があがっており、クラスの絆がより一層深まったのではないのでしょうか。

回収したワークシートからは、今後の体育大会や文化祭などの行事に今回の経験を活かし、一丸となって目標に向かって頑張りたいといった声も多く上がっていました。

目前に迫った体育大会では、クラスで団結した姿を見られることを期待しています！

